

札幌市内事業者等の皆様

札幌市長 秋元 克広

新型コロナウイルス感染症の拡大防止について(依頼)

平素より札幌市政の推進に格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスについては、3月26日現在、本市におきましても75名の感染者が発生しており、さらなる感染の拡大防止のため、さまざまな対策を講じているところです。

こうした中ここ数日、東京都では感染者が急増しており、その中でも感染源がわからない患者数が増加していることから、オーバーシュート(爆発的急増)を防ぐ重大局面として、首都圏での外出自粛や、全国からの来訪者に密集回避への協力を強く呼び掛けているところであります。

つきましては、各事業者の皆様におかれましては、不急の出張を控えていただくとともに、今後、人事異動により転入者・転出者が増加することや新入社員等を迎える時期となるため、今一度、①換気の悪い「密閉空間」、②多数が集まる「密集場所」、③間近で会話や発声をする「密接場面」の3つの条件が揃うことを避けていただくなど、研修やイベント等の取扱いについて、適切なお対応をいただきたくご依頼いたします。

また、例年であれば、時節柄、歓迎会等が多く催される時期ですが、規模の大小に関わらず、風通しの悪い空間で人と人とが至近距離で会話する場所を避けていただくほか、のどの痛みなどの軽い風邪の症状が見られる場合には外出を控えていただくなど、社員の皆様に対して、ご周知をいただきますようお願いいたします。

【参考】

- ・新型コロナウイルスを防ぐには リーフレット (札幌市版)

担当：経済観光局産業振興部経済企画課 高田、松本
住所：札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所15階
電話：011-211-2352
メールアドレス：keizaikikaku-kikaku1@city.sapporo.jp

新型コロナウイルスを防ぐには

新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種です。^{せき}発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いたるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれています。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつるといわれています。

飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

日常生活で気を付けること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにごまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター（集団）の発生を防止することが重要です。

お出かけの際には、以下のような条件が重なることを避けてください。

- ・換気の悪い「密閉空間」
- ・多数が集まる「密集場所」
- ・間近で会話や発声をする「密接場面」

こんな方はご注意ください

次の症状がある方は「札幌市保健所（救急安心センターさっぽろ【受診相談】）」にご相談ください。

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）

強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。

マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

【帰国者・接触者相談センター】	電話番号	開設時間
● 札幌市保健所 （救急安心センターさっぽろ【受診相談】）	011-272-7119 （#7119）	24時間

一般的なお問い合わせなどはこちら

その他、ご自身の症状に不安がある場合など、一般的なお問い合わせについては、次の窓口にご相談ください。

札幌市保健所（新型コロナウイルス一般電話相談窓口）
電話番号 011-632-4567
受付時間 9：00～21：00（土日祝も含む）